

日本共産党 橋詰 圭一 議員

津波防災・避難訓練について

(質問) いつ起きてもおかしくないと言われる「南海トラフ巨大地震」の津波浸水予想地域に約5万人、市の人口の約4分の1の人が住んでいるが、浸水予想地域内での地域主催の避難訓練は平成26年度で10回、たった630名程度の参加状況である。「津波で一人の犠牲者も出さない」との決意を持って、行政として地域の津波避難訓練の実態を

把握し、地域の訓練をもっと促すべきと考える。また、災害時要援護者、そのなかでも車いすの人も健康者と同じように避難訓練をするために、「けん引式車いす補助装置」の導入が必要と考えるがどうか。

(答弁) 自治会や自主防災隊で行う防災訓練にも適用される「防火防災訓練災害補償等共済制度」の周知とともに、避難訓練の調査を行い、避難訓練への地域住民の参加促進につなげる。また、「けん引式車いす補助装置」を3台配備し、使い勝手など検証していく。

鈴鹿の風 明石 孝利 議員

国民健康保険税値上げ対応について

(質問) 国民健康保険税について、平成24年度から、3期連続の赤字、本年度も赤字見込みと、値上げせざるを得ない状況と言っているが、なぜそこに至るまでに、抜本的な対策を打たなかったのか。これでは、市民は納得しない。私見だが、その原因は、県内最下位クラスの国保税収納率の低さと保険給付費の増大の2つにあると考える。その

解決策として、①国保税の賦課と徴収を保険年金課に一元化する。②他市の先進事例を参考に、健康づくり施策に取り組み、医療費を削減する。この2点について、市を挙げて取り組むべきと考えるがどうか。

(答弁) 賦課を行う保険年金課と徴収を行う納税課との連携をより一層強化し、収納率の向上を目指すと共に、ジェネリック医薬品の推進や検診の受診率などを高め、医療費の削減に努める。

その他の質問

○論理コミュニケーション教育の復活を

平明の会 矢野 仁志 議員

教育について

(質問) 新しい教育委員会制度のもと、市長はどのように教育の振興に取り組むのか。

(答弁) 市長と教育委員会が協議調整を行い、両者が教育政策の方向性を共有する場として、今年度より、総合教育会議を開催している。この会議は、市長と教育委員会が意思疎通を図り、教育の課題などを共有し、市民の意見を反映した教育行政の推進を図ることを目的としている。

今後は、この総合教育会議の場において、今まで以上に、緊密な連携を図り、鈴鹿の未来を担う子どもたちのために、教育条件の整備など、重点的に講ずべき施策について、協議調整を行っていききたい。そして、総合教育会議での協議を踏まえ策定した「鈴鹿市教育大綱」のもと、本市の宝であり、財産でもある子どもたちが、笑顔あふれる暮らしを実現するため、市長自らが、リーダーシップを持って、教育の振興に全力で取り組む。

その他の質問 ○子ども政策部について

○感染症対策 ○シティセールス

5・6月の会議日程 ※日程は変更される場合があります。

5月	23日	月	10:00	文教環境委員会・地域福祉委員会	6月	16日	木	10:00	本会議(一般質問)・議会運営委員会(本会議終了後) 各派代表者会議(議会運営委員会終了後)
	24日	火	10:00	総務委員会・産業建設委員会		17日	金	10:00	本会議(一般質問)・予算決算委員会(本会議終了後)
	25日	水	10:00	議会運営委員会		20日	月	10:00	文教環境委員会(分科会)・産業建設委員会(分科会)
6月	3日	金	10:00	本会議(開会)		21日	火	10:00	総務委員会(分科会)・地域福祉委員会(分科会)
	6日	月	14:00	議会運営委員会		24日	金	10:00	予算決算委員会・各派代表者会議(予算決算委員会終了後) 広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	13日	月	10:00	本会議(質疑)		28日	火	10:00	議会運営委員会
	14日	火	10:00	本会議(一般質問)		29日	水	10:00	本会議(閉会)・全員協議会(本会議終了後) 議会だより編集会議(全員協議会終了後)
	15日	水	10:00	本会議(一般質問)					